

曝露対策達成度評価表（各推奨対策小計12点以上、合計60点以上合格）

* 必須項目を満たした場合のみ、付加項目の点数を加点する（評価対象が複数ある場合は、小計点数の一番低いもので評価する）		点数	評価点数
推奨対策 1			
必須項目	全ての危険薬調製に室外排気型の安全キャビネットを使用している	12	
付加項目	+クラスⅡ タイプB2 100%室外排気型 または クラスⅢや無菌調製用封じ込めアイソレーター（CACI） ならびに クラスⅡ タイプA2 30%室外排気型 かつ 循環空気の抗がん剤除去が可能	2	
	+独立・専用配管排気	2	
	+排気風量異常時の警報装置がある	2	
	+定期的に保守管理を行い、6ヵ月毎に性能検査を行っている	2	
		小計	
推奨対策 2			
必須項目	危険薬のすべての調製に閉鎖式接続器具またはCSTDを使用している	10	
	危険薬のすべての投与に閉鎖式接続器具またはCSTDを使用している	10	
		小計	
推奨対策 3			
必須項目	危険薬を取り扱う際は、抗がん剤耐性試験済みまたはASTM規格に準拠した手袋・保護衣を使用し、規定に従った適切な 個人防護具の着用を行っている	12	
付加項目	+手袋・保護衣の適正な交換を行っている	4	
	+曝露のリスクに合わせた適切な個人防護具の着用を行っている	4	
		小計	
推奨対策 4			
必須項目	危険薬調剤・調製時における曝露防止策を考慮した具体的な作業方法を策定し、関係者へ周知している	4	
	危険薬投与時における曝露防止策を考慮した具体的な作業方法を策定し、関係者へ周知している	4	
	危険薬ならびに危険薬に汚染された排せつ物などの廃棄時における曝露防止策を考慮した具体的な作業方法を策定し、関 係者へ周知している	4	
	施設内のすべての人に危険薬による曝露の可能性を開示し、その曝露防止策の方法を策定し周知している	4	
付加項目	+曝露防止策のポスターや標語を用いて、施設に入るすべての人へ周知している	2	
	+患者やその家族向けに曝露防止策を考慮した具体的な説明文を策定して配布している	2	
		小計	
推奨対策 5			
必須項目	危険薬取り扱い時に吸入曝露した際の対処方法を策定し、応急処置物品が常備され、関係者へ周知している	4	
	危険薬取り扱い時に針刺しした際の対処方法を策定し、応急処置物品が常備され、関係者へ周知している	4	
	危険薬取り扱い時に経皮曝露した際の対処方法を策定し、応急処置物品が常備され、関係者へ周知している	4	
	危険薬取り扱い時に眼に入った際の対処方法を策定し、応急処置物品が常備され、関係者へ周知している	4	
付加項目	+危険薬取り扱い時の曝露に対する、汚染処理物品が常備され、失活方法を確立し関係者へ周知している	4	
		小計	
		合計	